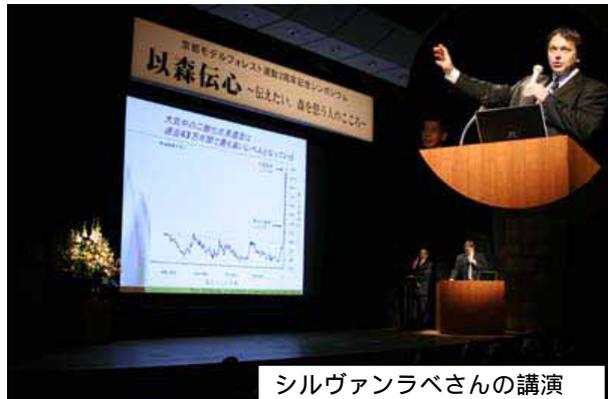


1 京都モデルフォレスト運動の普及啓発

京都モデルフォレスト運動 2 周年記念 シンポジウムの開催

11月16日アバンティホールで、モデルフォレスト運動の2周年を記念して「以森伝心～伝えたい、森を想う人のこころ～」をテーマとしたシンポジウムを行いました。会場には一般の方など300名が集い、協会が交流提携を結ぶカナダケベック州木材製品輸入振興会理事長シルヴァンラベさんから木材利用が地球温暖化防止を果たす大きな役割について、養老孟司さんからは「自然と人間」と題して、また、今森光彦さんからは、自ら里山での活動を行う中で感じた「里山と人との関わり」についてお話しをいただきました。



シルヴァンラベさんの講演



養老孟司さんの講演

美しい森林づくり推進国民運動との連携

国の美しい森林づくり推進国民運動やフォレストサポーターズの取組と連携し、国土緑化推進機構の助成事業等を活用した取組を実施しました。

・京都モデルフォレスト運動展の開催（1/22～24）

モデルフォレスト運動をより多くの方に知っていただくため、JR京都駅ビルインフォメーションセンター前広場でパネル展示を中心とした催しを開催しました。京都・森と住まい百年の会の協力いただき実施した『樹種当てクイズ』も大変好評でした。



・企業による森林づくり活動のPR(京都新聞連載広告、活動事例集)

今年度 23 の企業等にまで広がった企業参加の森林づくり活動をPRし、さらに企業等の参加を促進するため、京都新聞に、「美しい森林づくりの新たな担い手」シリーズ広告を連載するとともに、企業等の森林づくりの取組を紹介した冊子を作成しました。



・「美しい森林づくり全国推進会議」で京都モデルフォレストの取組を発表(6/27、全国都市会館)

「第2回美しい森林づくり全国推進会議」で、小石原副理事長(京都府副知事)から、京都モデルフォレストの取組について、



て、事例発表を行いました。同会議は、美しい森林づくり国民運動を推進するため、昨年6月、竹下景子さんや米長邦雄さんなどが発起人となって設立された組織で、当日は、福田前総理大臣、出井元ソニー会長や、行政、経済界、各種団体等 200 名が参加して、美しい森林づくりの推進について全国の取組事例が発表されました。

普及啓発イベント等への出展

- ・新緑祭 in 府民の森ひよし (5/3 ~ 5/6) 京都府と共催
- ・びっくり! エコ100選2008 (8/14 ~ 8/19、高島屋京都店) 間伐材を使った体験コーナー等
- ・赤とんぼの街づくり運動写生大会にブース出展 (9/27、府立植物園)
- ・水都大阪森林の市にブース出展 (10/11 ~ 12)
- ・京都学生祭典にブース出展 (10/11 ~ 12)
- ・森と水土里フェスタ 2008in 京都駅ビルで木工広場を出展 (11/3、京都駅ビル)
- ・農林水産フェスティバル (11/29・30、パルスプラザ)
- ・環境フェスティバル (12/13・14、パルスプラザ)



駅ビルでクリスマスリースづくり



新緑祭での木工体験



エコ100選の体験コーナー

府民向け森林体験ツアーの開催

府民の皆さんに身近に森林を感じていただくため、森林散策などを行うツアーを3回開催しました。

- ・第1回：7月26日「府民の森ひよし森の学校」参加者 親子42名
- ・第2回：11月22日「比叡山の紅葉と歴史に親しむツアー」参加者57名
- ・第3回：3月20日「巨木に出会う片波川源流域自然観察ツアー」参加者35名



広報誌「以森伝心」の発行、HPでの情報発信

- 第5号：2008.8
- 第6号：2008.12
- 第7号：2009.3



通常総会に併せ講演会を開催（5/26、平安会館）

小松和彦氏（国際日本文化研究センター教授）を招き、「森とものけ」と題して、人の作り出した空想物である「もののけ」を話題に、人と森の関係について講演いただきました。



2 森林ボランティア活動の推進

森林ボランティア団体等円卓会議の開催

(7/13、平安会館)

府内で活動する森林ボランティア団体等 18 団体から 34 名が参加し、4 班に分かれ「森づくりの夢を語ろう」をテーマに活発な意見交換が行われました。



森林ボランティア活動安全講習会の開催

(2/28～3/1、府民の森ひよし)

森林ボランティア団体や森づくり活動に取り組む企業等から 25 名が参加して、安全な森林内作業やチェーンソーの使い方等の講習を行いました。

竹の環プロジェクトの開催 (5/11、10/18、京都大学桂キャンパス)



住友生命、京都大学、協会会員や周辺住民等が参加し、京大桂キャンパス内の竹林整備活動を春・秋の 2 回実施しました。この取組は昨年秋から通算 3 回目の取組となります。

春は約 150 人、秋は約 180 人が参加し、竹の伐採等の作業に汗を流しました。

京都の伝統文化継承に貢献する森づくり活動の実施 (9/21、11/30、三井物産社有林)

京都市右京区梅ヶ畑の三井物産社有林で、五山の送り火や鞍馬の火祭で使うマツヤコバノミツバツツジの育成、確保のための広葉樹の抜き伐り作業体験を通じて、京都の伝統行事の伝承への貢献と森林整備や木材利用の重要性等への理解を深めるための活動を開始しました。9/21 と 11/30 に、大文字保存会、鞍馬火祭り保存会の協力を得て、協会会員等 40 名が参加して、広葉樹の整備活動を実施しました。今後も、定期的に活動していく予定です。



竹の利活用を考えるボランティア交流会の開催 (2/7、山城町森林公園)

山城モデルフォレスト推進協議会と共催して、協会会員も参加し、モデル竹林の整備や伐採・搬出した竹のチップ化とペレット化(移動式ペレット製造機)の作業体験、利用方法についての意見交換などを行う交流会を開催しました。

森林ボランティアリーダー養成講座

企業や森林ボランティア団体のリーダーを養成するための講座を、昨年に引き続き平成20年9月6日から6回シリーズで開催しました。参加者は18名で、救護、樹木観察、竹林整備、間伐、企画立案、道づくりなど毎回座学と実習のカリキュラムを組み、最終日の11月2日には修了書を授与しました。



子ども樹木博士（9月6日）



救急法の実習（9月7日）



竹林の整備（10月4日）



野外活動企画等（11月1日）



道づくり（11月1日）



間伐実習（11月2日）

森の健康診断の開催（3/14）

人工林の健康状態をチェックし、森林づくりに生かす「森の健康診断」を、安祥寺山国有林（京都市山科区安祥寺）で実施しました。

当日は、協会会員等29名が参加し、事前に研修を受けた森林インストラクター会のメンバー等がリーダーとなって、3班に分かれ、簡単な道具を使って森林の状態を調査しました。

3 企業等の参加による森林づくり活動の推進

企業等の参加による森林づくり活動の展開

これまでに府内 20 ヶ所で、次の 23 団体が活動を開始しました。

(19 年度まで)

サントリー(株)、日本生命、オムロン(株)、コカ・コーラウエスト(株)、(株)村田製作所、エスペック(株)、パナソニック・フォトライティング(株)、住友生命、京都大学、(株)東芝、(株)NTTドコモ関西、三共精機(株)、佛教大学

(20 年度)

全労済京都府本部、積水化学工業(株)、(株)平和堂、(株)島津製作所、三井物産(株)、KDDI(株)、三洋電機(株)、京都南ライオンズクラブ、京都乙訓ロータリークラブ、ワタキューセイモア(株)



協定調印式



植樹活動



間伐作業



子供達による植樹

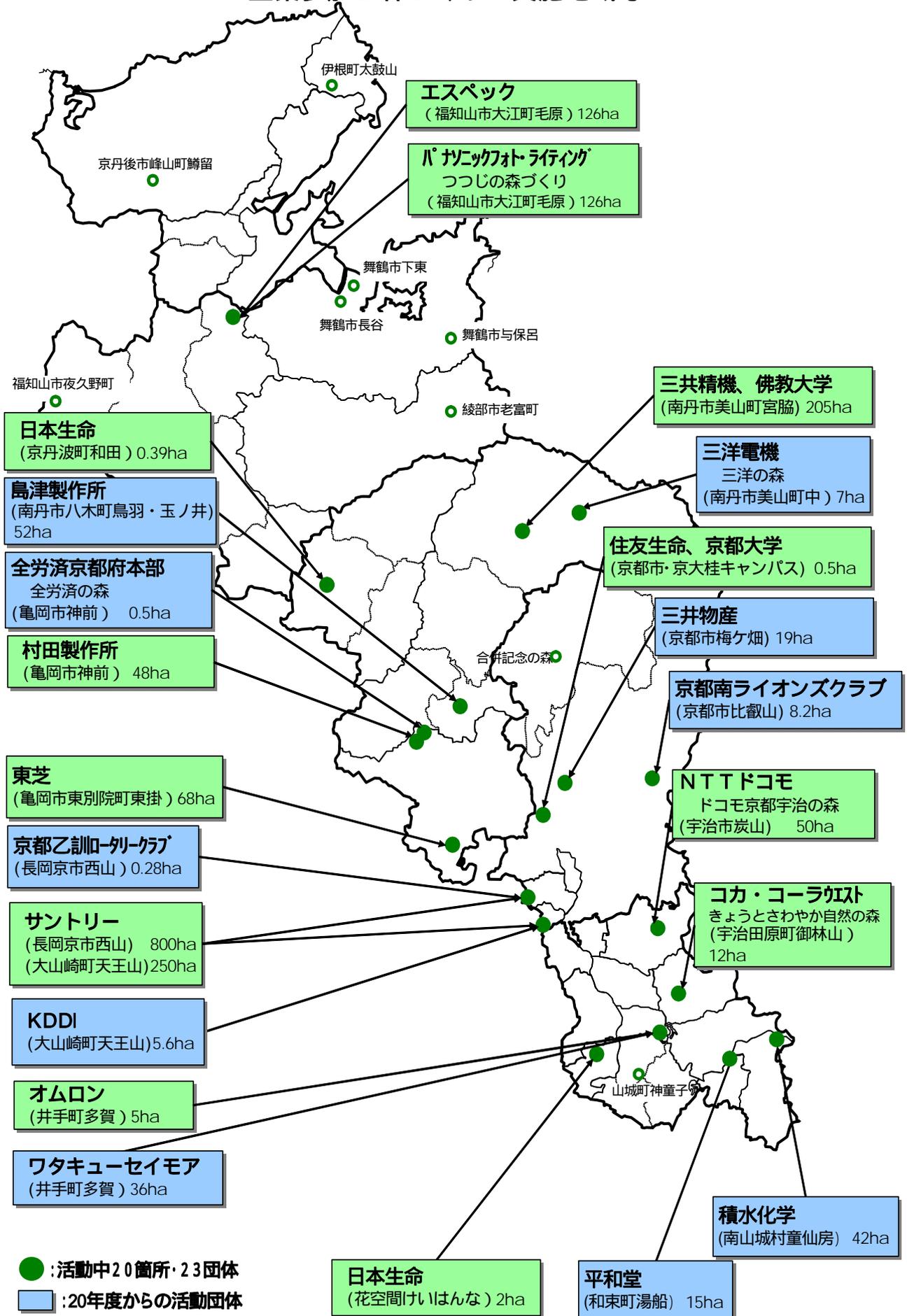


竹林の整備活動



伐採木をチップに

企業参加の森づくり 実施地域等



企業等からの寄付金による森林づくり事業の展開

モデルフォレスト運動に賛同いただいた企業等からの寄付金を活用して、森林づくり基金運営委員会で審議（10/31 開催）のうえ、平成 20 年度交付金として府内で実施される森林整備等の事業に交付しました。各事業地域は、京都府の豊かな緑を守る条例に基づく森林利用保全重点地域の指定又は予定地であり、一定の森林づくりのプランを作成し、事業の推進体制を有している地域です。

< 寄付金による森林整備の状況 >

寄付者	寄付金額 (千円)	使 途 等
全労済京都府本部	2,583	・京都府森林利用保全重点区域等の森林整備 ・亀岡市宮前町の協定区域森林整備
京都北都信用金庫	2,306	・丹後天橋立大江山国定公園内の森林整備（同公園誕生を記念して発売した「記念積金」の契約口数に応じて協会に寄付）
三共精機、佛教大学	456	・南丹市美山町宮脇の協定区域森林整備
京都ライオンズクラブ	1,000	・京都府森林利用保全重点区域等の森林整備
京都乙訓ロータリークラブ	1,000	・長岡京市西山の協定区域森林整備
きょうと情報カードシステム	1,000	・京都府森林利用保全重点区域等の森林整備
プリティッシュアメリカンカバコジャパン	1,800	・長岡京市西山の協定区域森林整備 等
京都南ライオンズクラブ	3,000	・京都市比叡山の協定区域森林整備
東芝	1,498	・亀岡市東別院の協定区域森林整備
島津製作所	600	・南丹市八木町の協定区域森林整備
地球テザースィンクール(自販機売上の寄付)	18	・京都府森林利用保全重点区域等の森林整備



理事長から感謝状を贈呈



寄付金で手入れされた竹林

<カーボンオフセットの取組>

企業等からの寄付で森林を整備し、それに伴うCO2吸収量を認証することで、企業の自社製品や活動によるCO2排出量を相殺するカーボンオフセットの取組をはじめました。

寄付者	寄付金額 (千円)	内容等
JR西日本	2,594	J-WESTカード等の利用に応じて貯まるポイントの交換商品として、「カーボンオフセット特典」を設定し、ポイントに応じて協会に寄付
ウエダ本社	250	複合機等の使用に伴い排出されるCO2を、協会に寄付して森林保全活動に貢献することで相殺する仕組みを導入

森づくりセミナーの開催

企業や森林ボランティア団体の方を対象に森づくりについて考えるセミナーを1月22日、ホテル京阪京都において開催しました。定員を上回る約70名の方に参加いただき、森林療法をテーマとした上原巖東京農業大学准教授の講演や企業からの取組の報告がありました。



4 ケベック州との森林環境保全等の交流

京都府と協会では、カナダ・ケベック州との間で、モデルフォレストなど森林環境保全等の分野で交流提携を進めることで合意し、4月23日に協定を締結し、モデルフォレスト



運動や地球温暖化等の取組で連携を推進していくこととしました。

協定は、京都府(小石原範和・副知事)とケベック州政府(モニク・ガニオン=トランブレ国際関係・フランス語圏大臣)及び京都モデルフォレスト協会(柏原康夫理事長)とケベック木材製品輸出振興会(シルヴァン・ラベ理事長)の間でそれぞれ締結しています。

この協定に基づき、3月9日には京都府立大学とケベック州のラバル大学とが学术交流協定を締結し、今後、研究者や学生の交流が進められることとなっています。

5 緑の募金の推進

(1) 緑の募金活動の実施

20年度は、新たに、間伐材等を活用した木のマグネットやペン立てなどのオリジナル募金グッズを作成し、地域の緑の募金支援団体や会員の皆さんの御協力をいただいて春と秋にキャンペーンを展開しました。

また、自販機メーカー（ダイドードリンコ㈱、近畿パブショー販売㈱）と設置企業等の協力で、売上の一部が緑の募金に寄付される緑の募金寄付型自動販売機を設置（現在府内に66台設置）いただき、売上の一部を募金いただきました。

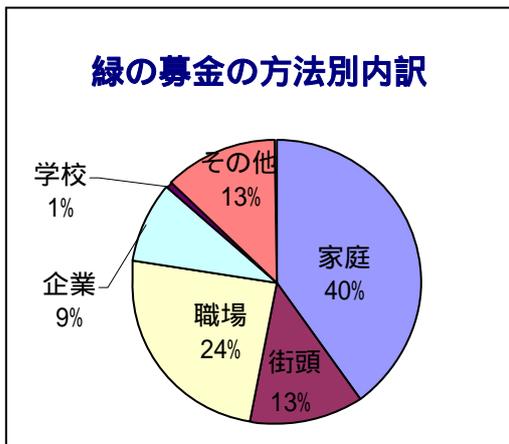
これらの活動の結果、前年度を7.2%上回る18,243千円の募金をいただきました。

< 緑の募金実績 >

期	目標額	春期募金実績	秋期募金実績	合計	前年比
H20	20,000,000 円	14,963,309 円	3,280,168 円	18,243,477 円	107.2%
H19	20,000,000 円	14,350,716 円	2,671,045 円	17,021,761 円	111.4%
H18	18,000,000 円	12,809,702 円	2,474,840 円	15,284,542 円	-

< 緑の募金に寄付をいただき、協会から感謝状を贈呈した企業等 >

㈱D A C (200 千円)、京都府ホダ会 (525 千円)、ビューティークラブジュビラン (198 千円)



協会オリジナル年賀はがき



木製小物で緑の募金

宇治市太陽が丘で行われたイベント「京都大作戦」でワルスターうじの皆さんと募金活動



(2) 緑の募金による事業

皆さんからいただいた緑の募金は、緑の募金運営協議会で審議（2/4に開催）の上、森林整備や緑化推進、緑の少年団活動等の森林環境教育、緑化の普及啓発等に活用させていただきました。

森林整備事業（300千円）

ボーイスカウトやガールスカウトが行う森林活動に対し、資材等の購入に必要な経費及び森林整備活動や研修経費について助成しました。

森林ボランティア団体等の活動については、(社)国土緑化推進機構が行う「先駆的先導的森づくりボランティア活動支援事業」、「緑の募金公募事業」、「緑と水の森林基金公募事業」の助成事業を活用して支援を行いました。

緑化推進（3,800千円）

ア 地域緑化事業

地域の緑化を推進するため、府内の老人クラブに委託して養成されたツツジ、アラカシの苗木400本と京都府緑化センターから購入した桜の苗木195本を地域の団体に無償配布し、公園や道路沿線、公共施設等に植栽しました。

<緑化樹養成委託> 今山長春クラブ（南山城村）、船枝紫雲クラブ（南丹市）

<主な配布先> 宇治市野外活動センター、桜を植えよう会、きりやま21、白栖区老人クラブ、南丹市日吉支所、今西中桜並木の会、伊根町商工会青年部、浅茂川区長OB会ほか14箇所

イ 学校緑化事業

教育環境の整備と緑を愛し育てる心を育むため、府内の小・中学校22校に対し、植樹木の購入等に要する経費を助成しました。

学校名	学校名	学校名
京都市立紫竹小学校	宇治市立榎島小学校	南丹市立美山中学校
京都市立祥栄小学校	木津川市立相楽小学校	京丹波町立蒲生野中学校
京都市立御室小学校	木津川市立木津小学校	綾部市立綾部中学校
京都市立京北第三小学校	木津川市立上粕小学校	舞鶴市立志楽小学校
京都市立久我の杜小学校	木津川市立州見台小学校	宮津市立栗田小学校
京都女子中学校	八幡市立男山東中学校	宮津市立宮津中学校
	亀岡市立川東小学校	宮津市立府中小学校
	亀岡市立大成中学校	京丹後市立宇川小学校

地域緑化事業による桜苗の植樹



学校緑化事業によるPTA主催の植樹



ウ 緑の少年団等育成事業

森林や緑の大切さを学ぶ緑の少年団活動を支援するとともに、7/30～8/1まで福島県で開催された第19回緑の少年団全国大会に、京都府から「京都弓削緑の少年団」の団員等3名を派遣し、式典や交流活動等に参加しました。また、来年度の京都府開催に向けて視察を行いました。



全国大会旗を引き継いだ弓削団員

エ 平成20年度緑化運動ポスター・愛鳥週間ポスターコンクール

京都府と共催で、府内小中高校の生徒等を対象に緑化及び愛鳥ポスターコンクールを開催しました。優秀作品はイオンモール京都八ナ等で展示し、緑化の普及啓発を行いました。

< 応募総数 >

緑化運動ポスター：211校 1,479点

愛鳥週間ポスター：214校 1,579点

計 3,058点



イオンモール京都八ナでのポスター展

< 最優秀賞の作品 >



井越 望実
京都市立第三錦林小6年



西山 怜奈
舞鶴市立城北中2年



片野 楓太
南丹市立摩気小1年



中谷 亜季
京都市立洛南中3年

緑の募金交付金事業（10,387千円）

地域の緑化推進団体等が、それぞれの地域で森林整備や植樹等を通じて青少年等に緑化思想の普及啓発を図るための経費として、緑の募金の実績から緑の募金活動のために要する資材費を差し引いた金額の75%を交付金として、また、(社)国土緑化推進機構に対し、緑の募金法施行規則第6条に基づき中央交付金を交付しました。

<平成20年度 緑の募金交付先一覧>

(単位：千円)

交 付 先	交付額	交 付 先	交付額
京都・乙訓緑化推進委員会	2,151	舞鶴緑化推進委員会	1,519
宇城久緑化推進協議会	635	綾部緑化推進委員会	544
綴喜林業振興会	759	与謝地方林業振興会	331
相楽地方森と緑の振興会	184	丹後地方林業振興会	248
(財)亀岡市都市緑花協会	1,095	小 計 11 団体	9,340
南丹・京丹波林業振興会	520	(社)国土緑化推進機構	1,047
福知山緑化推進委員会	1,352	計	10,387

<主な交付金の使途>

(単位：千円)

地域緑化	4,181	森林ボランティア支援	1,017
学校緑化	1,071	森林づくり活動	227
緑化啓発活動	993	募金活動推進	1,498
緑の少年団育成	413		



実のなる木の植樹（舞鶴市）



木製プランター（亀岡市）



緑のカーテン（亀岡市）

(3) 緑化関係事業

国土緑化推進機構の「緑と水の森林基金事業」による助成を受け、次の事業を実施しました。

項目	助成額	事業主体	事業内容
森林・緑・水に対する国民の認識を深めるための普及啓発活動	1,200 千円	京都府木材組合連合会	「森は生きている展」の開催、木工教室の開催、講習会・出前教室の実施ほか
木材需要の拡大と古紙利用等の推進	300 千円	京都府林・材・建青年会議所	木の日の展示、木工教室の開催、ホームページによる普及啓発
森林を活用した青少年の環境教育促進	1,200 千円	緑の少年団地域ブロック	緑の少年団交流集会、木工・炭焼き体験学習、自然観察ほか
緑の少年団全国大会開催準備	2,700 千円	協会	21 年度の全国大会境地開催に向け、府内緑の少年団活動の活性化を図るため、制服、帽子等を団員に配布